

面体へのHMD装着例

高層建築物や地下施設等の大規模閉鎖空間における火災は、排煙が円滑に行われない場合、濃煙と放水による濃水蒸気により視界を奪われ、的確な消火・救助活動、隊員の安全確保に支障をきたします。そのような状況下で視界確保の手段として、面体にHMDと赤外線カメラを装着した例です。



HMD仕様

表示デバイス	反射型強誘電LCoS QVGA フルカラー
解像度	320×240
カラー表示	18bit
仮想サイズ	20inch
イメージ位置	1m
レンズタイプ	単眼 固定焦点
映像ソース	NTSCビデオ信号
電源	単4電池(×2)
連続作動時間	約3時間
HMD寸法(mm)	28(L)×20(W)×19(H)
HMD重量	8g
総重量	70g(電池含まず)

赤外線カメラ仕様(*)

赤外波長	7～14μm
画素数	160×120pixel
フレームレート	9Hz
画角(H×V)	～50×37°
センサー重量	67.5g
I/F	NTSCビデオ信号
ケース材質	アルミニウム
電源	単3オキシライド電池(×2)
連続作動時間	約2時間

(*)参考仕様